

▼各地でどんど焼き



1月15日、寺尾天台自治会第4区集会所でどんど焼きが開催されました。好天に恵まれて、65の方が参加し、焼き芋やお汁粉を食べる姿が見られました。参加者の江藤誠剛さんは「孫にどんど焼きを経験させることができ良かったです」と話しました。自治会の役員は大変だと思いますが、続けて欲しいと感じました。【高島 勝】



1月14日、蓼川神社境内でどんど焼きが行われました。事前に分別されたお飾りなどに火入れがされ、集まった多くの子どもたちが、竹の先につけたお団子を焼きました。無病息災、家内安全、健康に一年を健やかに過ごすことなど、それぞれ願いを込めて焼いた団子を、おいしそうに食べていました。【大滝 隆司】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲天神森隧道を抜けると富士山

1月21日、早川にある天神森隧道を西側に抜ける瞬間に、別世界が開けたように雄大な富士や丹沢の雪景色に出会いました。新武者寄橋や綾西の町並みとも良く調和していて、この景色は綾瀬の魅力の一つだと感じました。【馬場 正勝】



▲綾瀬産大豆で豆腐づくり体験

1月22日、市内を中心に自然体験を子どもたちに提供している「地球チャイルド」が、南部ふれあい会館で豆腐づくり体験を開催し、11家族32人が参加しました。綾瀬産の大豆をミキサーにかけると子どもたちは目を輝かせていました。厚木基地内の家族も参加していて国際的な雰囲気もあり、会場内はとても賑わっていました。【笹山 真琴】



▲土曜まなび場で楽しく勉強中

1月14日、南部ふれあい会館で土曜まなび場が開催されていました。およそ40人の子どもたちがそれぞれ教材を持参し、漢字の書き取りや算数の計算などを熱心な様子で勉強していました。テーブルごとに異なる学年の子どもがグループ分けされており、高学年の子が低学年の子に勉強を教えている姿も見られました。【長谷川 智恵】



▲ひよこサロンの節分で「おには～そと」

1月26日、早園地区センターでひよこサロンの節分が開催され、未就学児と保護者、13組29人が参加しました。赤鬼・青鬼が登場すると、子どもたちは紙で作った豆を投げ「おには～そと！」と大きな声を上げていました。鬼を怖がり、泣き出した子もいましたが、節分をみんなで楽しんでいました。【福島 順一】



▲少し早い春

1月22日早朝、目久尻川沿いの遊歩道にある14本の梅の木が、寒さに負けず花を五分ほど咲かせていました。白い花と、14本のうち1本だけ赤い花をつけており、ほんのりと梅の香りを漂わせていました。厳しい寒さの中、カメラを持つ手がかじかんでいましたが、ほっとする空間で、少し早い春を感じたようでした。【高橋 元】



▲出張ミニ健康講座が開催されました

1月26日、中村自治会館で健康あやせ普及員による出張ミニ健康講座が開催されました。「災害直後の健康管理」をテーマに市の保健師から避難所でのエコノミークラス症候群や感染症、熱中症などへの注意、その対処方法などの話がありました。日頃の心構えと訓練が大切だと思いました。【米山 徳治】



▲地名の由来「早川」

1月10日、早川地区を散策しました。昔、目久尻川がこの辺りで急に激しい流れとなったことから、「早川」という地名がついたと伝えられます。早川には、武者が出陣するときの集合場所となったといわれる武者寄橋など、名所旧跡が今に残ります。歴史探究の散歩には、最適な地域ではないでしょうか。【吉江 旭】



本の探し方などを案内
としょかんはじめてツアー

3月28日(火)10時～11時、図書館でとしょかんはじめてツアーを開催します。同館の使い方や本の探し方を案内します。普段は入れない書庫の見学もあります。同館利用初心者の小学生対象(新1年生も可)。定員10人(申込順)。☎3月2日から同館へ電話か直接。☎同館☎77・8191。

